

新型コロナ禍で休園期間中の天王寺動物園に誕生したホンダタヌキの赤ちゃん。新しい命に会いに、再開されたばかりの動物園へ出かけました。

(大阪芸術大学短期大学部メディア・芸術学科教授 松尾理也)



## 休園中に誕生



ホンダタヌキのカップル、ぼんとくりとんに赤ちゃんが生まれたのが4月28日。最初は巣箱の中で日中寝ていた2頭の赤ちゃんも、生後1カ月が過ぎてすっかりちゃんちゃん。外に出てきて、愛くるしくしゃべりながら姿を見せてくれるようになりました。

## 野良タヌキも棲息

たまに両親もそばに来て、「おいおい、調子に乗りすぎてケガするなよ」といった感じでだしなめたりしています。タヌキはつがい子育てをする動物で、家族意識が旺盛。仲睦まじい様子を見てると、和みます。

## 野良タヌキも棲息

キツネとともに昔話にもしばしば登場するなじみの深い動物、タヌキ。案外、都会の中の森にも野生のタヌキが棲息している。天王寺動物園でも園内を走り抜ける野良のタヌキが目撃されたことがあったそうです。さすがにタヌキはベツトとして飼育されていたケースはないでしょうから、野生ということになるのではしゅね。

仲良し赤ちゃんタヌキは、すーっと一緒にしゃべっています。



▲まだ子どもながらなかなか凛々しい顔立ち



メディア・芸術学科教授 松尾理也

## 編集後記

新型コロナ禍の影響で大学の授業もオンライン対応が続き、新入生ともなかなか顔を合わせることができなかったこの新学期。今回は特別編として、教員である私が取材・執筆を担当しました。ただ、6月に入って一部対面授業も復活。学生たちの表情にも明るさが戻ってきました。次回は、いつものように元氣な芸短生のレポートをお届けできるよう、願っています。

## 頭のいい動物

昔話では、タヌキは人間に化けたり、葉っぱをお金に変えて人間をだましたりするキャラクターとしてしばしば登場します。実際のタヌキはヒトに向かってくることはまずない動物ですが、頭がいい動物なので、ヒトを化かすイメージが作られたのかもしれない。いかにも日本の動物という感じで、派手さはないけれど、しみじみかわいいタヌキの赤ちゃん。もうすぐ名前が決まる予定なので、ぜひ会いに行ってみよう。

イラストレーション/望月けい



大阪芸術大学短期大学部

伊丹キャンパス/メディア・芸術学科、デザイン美術学科  
大阪キャンパス/保育学科

芸短ってどんなところ? まずは授業を体験してみよう!

オープンキャンパス de 高校生限定 体験入学

2020 7/19(日) 8/30(日)・9/27(日)  
11/8(日)・2/7(日)

望月けいイラスト入り  
クローキー体験イベント!

Webから事前申込要  
大阪芸短

